

## 授業展開例（社会）

1. 学 年 第3学年
2. 項目名 「社会生活における取決めの重要性」 （中項目 「個人と社会生活」）

3. 中項目 「個人と社会生活」について

身近な社会集団として家族，学校，地域社会などを取り上げるとともに，個人が結び付いて社会が生まれ，社会生活が営まれていることを理解させ，社会生活を円滑にするために互いの合意に基づいてルールがつくられていることなど，日常の具体的な事例を取り上げて考えさせる。

4. 中項目の目標

身近な社会集団として，家族，学校，地域社会などを取り上げ，個人は社会の一員としてでなくては生存を確保することも生活を向上させることもできない存在であることに気付かせる。

個人が家族，学校，地域社会など身近な社会集団の中でよりよい生活を営んでいくためには，個人は社会とどのようにかかわったらよいかを具体的に考えさせる。

民主社会において想定されている個人像は，すべて平等に人間として尊重されなければならないものであり，現代の家族制度の基本となっている「個人の尊厳と両性の本質的平等」の考え方や男女共同参画社会の形成を推進する基本的考え方に現れていることに気付かせる。

個人が結び付いて社会が生まれ，社会生活が営まれていることを理解し，個人と社会とのかかわり方について，日常の具体的な事例を取り上げて考えさせる。

社会生活を円滑にするために互いの合意に基づいてルールがつくられていることを理解し，それゆえ，ルールを守ることが大切であることを，日常の具体的な事例を取り上げて考えさせる。（本時）

5. 中項目の評価規準

個人と社会生活

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
家族や地域社会の機能，及び社会のルールについて，身近な事例や調査などを通じて，自分の問題として追求し続けようとする。	家族や地域社会の機能について考察を深めることができる。 個人が家族の一員として，また地域社会の一員として，他の人々と共に生活を営んでいることを認識でき，個人と社会とがどのようにかかわりながら生活しているかを，作業，グループ討議，クラス討議等を通じて考察することができる。 社会生活を円滑にするために互いの合意に基づいてルールがつくられていることを具体例に即して考察でき，ルールを守ることの意義を考えることができる。	家族と地域社会の機能について，身近な事例や調査などを基に，自分の言葉で適切に表現することができる。	家族や地域社会の機能について理解できる。 個人が家族の一員として，また地域社会の一員として，他の人々と共に生活を営んでいることを自覚し，個人と社会とどのようにかかわりながら生活しているかを，具体例に即して理解できる。 社会生活を円滑にするために互いの合意に基づいてルールがつくられていることに気付き，ルールを守ることの意義を理解できる。

6. 中項目に関する指導と評価の計画（全4時間）

時	学習内容（時数）	評 価					評価方法
		関心	思考	技能	知識	評価規準	
1	個人の尊重 自分らしさとは何か（1時間）					民主社会において想定される個人像は，すべて平等に人間として尊重されなければならないものであることを理解できる。 自分らしさについて考えることで，一	作業結果発表

					一人が長所も短所も含めて「かけがえない個人」として尊重されるべき存在であることを認識できる。	
2	個人と家族 理想の家族像 (家族の思い, 自分の思い) (1時間)				家族や家族が生活する場としての家庭が個人の生存を確保する経済生活の最小単位であり,また人間形成の場であることを理解できる。 個人の尊厳と両性の本質的平等の考え方が,現在の家族制度の基本となっていることを確認できる。	作業結果 発表
3	個人と地域社会 自分と地域社会の結びつき (1時間)				学校や地域社会での生活を通して個人個人が行動様式や生活様式を身に付け,交流や相互扶助,生活環境の整備を行い,お互いの生活の向上や改善を図っていることを,各自の日常生活に引きつけて具体的に理解できる。 個人は社会の一員としてでなくては生存を確保することも生活を向上させることもできない存在であることに気付くことができる。	観察法 発表
4	社会生活におけるルール (ルールをつくること,ルールを守る意味) (1時間)(本時)				社会生活を円滑にするために互いの合意に基づいてルールがつけられていることに気付き,それゆえ,ルールを守ることが大切であることを,日常の具体的事例に基づいて考えることができる。	観察法 発表 レポート

## 7. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・「マンションのルールづくり」という具体例を通じて,ルールや規則をつくっていくには,様々な考えを持つ人々がそれぞれ自分の意見を説明し十分な話し合いを行って,互いが納得して合意できる内容にしていく努力が必要であることを,疑似体験を通じて理解させる。
- ・慣習,道徳,法について,具体例に基づき理解させる。

#### 【普遍的視点】

- ・ルールや規則作りに参画した以上,互いが責任を持って守ることが大切であること,そして個人がそのようなルールや規則をつくったり,あるいはそれを受け入れていく限り,その結果について責任が伴うことにも気付かせる。(自他の理解と尊重,役割の自覚と自己責任)
- ・マンションのルール作りという疑似体験を通じて,自己の役割を果たさせる(参加型学習)

### (2) 観点別評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
社会生活におけるルールについて関心を持ち,リーガルマインドを尊重しようとする。	ルール作りに必要な条件を考察できる。 ルール作りに参画した以上,結果について責任が伴うことを認識し,ルールの意義について考察できる。	ルール作りの疑似体験に積極的に参加し,自己の意見を適切に表現でき,他人の意見を共感的に受け入れることができる。	どのようにしてルールがつけられるかを具体例に即して理解する。 慣習,道徳,法について理解する。

### (3) 準備物

教科書 帝国書院『社会科 中学生の公民 地球市民をめざして』  
話し合いのためのシート,糊つき付箋紙,発表用の模造紙

(4) 展開

	主な学習活動	主な発問	指導者の支援・留意点	評価規準	評価方法
導 入	あるマンションの規則， (ピアノ，ペット，ゴミの 捨て方，当番等)を取り上 げ，これが何か考える。	この文書は 何だろうか。	日常生活に直結したも のであること，近所付き 合いにも直結する内容で あることに気付かせる。	自分達の日常生 活に引きつけて考 えることができる。	観察法 発表
展 開	この内，午後10時以降 はピアノはひかないこと。 (ひくときは，消音器を使 うこと。) 新しくピアノを 買うときは，マンションの 住民に連絡すること，につ いて考える。  グループに分かれて，挿 し絵を基にピアノ以外にも どんな問題があるか整理す る。  整理した問題について， どのようなルールをつくっ たらよいか，考える。  グループごとに話し合い の結果を発表する	どうして，ピ アノについて のルールがで きたのか考え てみよう。  挿し絵を見 ながら，ピアノ 以外にどんな 問題があるか， あげてみよう。 それらの問 題をどうやっ て解決するの か，それぞれが マンションの 住人の立場に なって話し合 ってみよう。  他のグルー プの良さを見 つけよう。	挿し絵を基に，ピアノ を弾いている人，近所の 人，それぞれの立場に立 って考えさせる。  机間指導しながら，ど うすれば利害・意見の調 整ができるかを，具体的 に考えさせる。	ピアノを弾く人， 近所の人，両方の権 利がどのように調 整されているかに， 気付くことができ る。  <b>自分が担当する 住人の立場に立っ て，意見を適切に述 べることができる。 他の人の意見を 共感的に聞くこと ができる。</b>  同じ事例であっ ても，解決法は様々 であることに気付 くことができる。	観察法 発表
ま と め	みんなが納得するルール 作りに必要な条件をまとめ る。(ルール(法)が正当性 を持つために必要な条件は 何か確認する。)  慣習，道徳，法について まとめ，これらに違反した 場合，それぞれどうなるか について考える。  権利と責任の関係を整理 し，ルールを守る意義につ いてまとめる。	ルール作り に必要な条件 をどうとらえ たらよいのだ ろう。  ルールに違 反したらどう なるか，考え てみよう。	グループごとの話し合 いを振り返らせ，うまく いった(あるいはいかな かった)理由を考えさせ る。  ピアノや消灯時間な ど，本日の話し合いの具 体例に即して考えさせ る。  慣習，道徳，法につ いて，それらに違反した場 合も含めて，ノートにま とめさせる。	率直に自分の考 えを出し，十分に話 し合うこと，話し合 いの際は，互いの立 場を尊重して一致 点を探る努力が必 要であることを理 解できる。 慣習，道徳，法の 違いについて理解 でき，それらに違反 した場合，どのよ うに責任をとらねば ならないかを説明 できる。  権利と責任は表 裏一体の関係であ ることを理解でき る。	観察法 発表

項目のまとめに向けて	応用の課題を提示する。	本日の学習を基に、「新たにゴミ置き場を設置するためのルール」をどのようにつくったらよいか、レポートしよう。		本日の学習の成果が生かされている。	レポート
------------	-------------	---	--	-------------------	------

#### 8. 評価

- ・ルールや規則作りのプロセスにおいて、十分な話し合い、合意形成が必要なことを理解できたか。
- ・ルールや規則作りに参画した以上、ルールに守られる一方、結果について責任が伴うことに気付くことができたか。
- ・意見交換の中で、他人の意見を共感的に受け止めることができたか。また、自分の意見を分かりやすく伝えることができたか。